

JOIN our Musical Summer Camp! Anything Goes Youth Edition

SIGN UP!



Mainstage Camp

📅 キャンプ期間: 2026年7月19日～8月1日
公演日: 2026年8月1日 (Jassey Hallにて開催)

🕒 本キャンプは、新G6～G12 (新小学6年生～高校3年生) の生徒を対象とした、12日間 (月～金、9:00～15:00) のプログラムです。

ミュージカルシアターの世界に足を踏み入れ、オーディションから本番の舞台まで、本格的な舞台制作の魅力を体験してみませんか。

アオバのミュージカル・サマーキャンプでは、プロの教育者や現役アーティストの指導のもと、生徒は舞台制作の一連の流れを総合的に体験します。参加者は、以下のような制作プロセスのすべてに関わりながら、実践的に学びを深めていきます。



Auditions & Casting



Dance & Body Coordination Coaching



Rehearsals & Character Development



Set Design, Building & Painting



Music Direction & Vocal Training



Costumes & Full Stage Production

生徒は、演技・歌唱・ダンスのスキルを伸ばしながら、舞台演出、振付、音楽指導の各分野で活躍するプロフェッショナルと密に連携し、実践的に学びを深めていきます。

お申込みはこちらをクリック



or QRコードにアクセス

参加者は以下のようなプログラムを通してスキルを高めていきます:

- プロのボーカルコーチによる指導で、歌唱力と発声技術を向上
- プロのダンス・ムーブメントコーチによるトレーニングで、ダンススキルを強化
- プロのドラマ講師の指導のもと、舞台上での自信と表現力を育成

キャンプの最後には、8月1日(土)午後2時よりファミリー向け公演を開催します。
衣装や舞台セットを含む、本格的な舞台作品として上演されます。
すべてのクラスは英語で実施されます。

上演作品

ANYTHING GOES – YOUTH EDITION

夏にぴったりの、活気あふれるエネルギッシュで魅力的な名作ミュージカル。
ひねりの効いたストーリーとともに、観る人を引き込む舞台です。
創造力を解き放ち
スポットライトの中へ一歩踏み出して
自分の無限の可能性を発見しましょう!

対象年齢:11歳~19歳

INFORMATION ABOUT THE TEACHERS



Director: Nami Holderman

ナミ・ホルダーマンは、エネルギッシュで思いやりにあふれた教育者であり、ダンサー、そして舞台芸術の研究者です。ダンスやミュージカル作品の演出・制作において10年以上の経験を持ち、創造性と体系的な指導の両方を兼ね備えた教育を実践しています。アオバジャパン・インターナショナルスクールのパフォーマンスアーツプログラムでは、今年で12年目の指導者として活躍しています。

これまでに数多くのミュージカル作品を手がけてきたナミは、教育学修士号を取得しており、現在はK-12教育リーダーシップ分野における博士課程の修了を予定しています。教師になる以前はプロのバレリーナとして研鑽を積み、アメリカのノースカロライナ・ダンスシアターやダンス・セントラルで活動したほか、複数の企業でファッションデザイナーとしても活躍しました。

こうした多彩な経験を背景に、生徒一人ひとりを中心とした総合的な学びのアプローチを大切にしています。若いパフォーマーの自信や協働力、創造的な表現力を育むことに情熱を注いでいます。

本プログラムでは、『Anything Goes – Youth Edition』の上演を予定しており、生徒たちが安心して成長し、学び、表現できるインスピレーションあふれる環境を創り上げていきます。



Director: Jamie Hillen

ジェイミー・ヒレンは、長年にわたるプロフェッショナルとしての経験と音楽への情熱を兼ね備えた教育者です。ピッツバーグ・オペラ・カンパニーのマール・スタッツマン氏、およびジョージア・サザン大学声楽学部のカイル・ハンコック博士のもとで声楽を学びました。卓越した音楽家として、アメリカ陸軍バンドにおいて23年間、声楽ソリストおよびユーフォニアム奏者として活躍しました。ジョージア・サザン大学にて教育学修士号および合唱指揮の修士号を取得しています。

リッチモンドヒル高校では合唱ディレクター兼ファインアーツ部門責任者を務め、ミュージカルシアターの指導も担当し、12作品の本格的なミュージカル公演の演出・共同演出を手がけました。彼の指導のもと、同校の合唱団はニューヨークのカーネギーホールをはじめ、アメリカ南東部各地の著名な舞台で公演を行い、毎年合唱祭においても常に最高評価を獲得してきました。

INFORMATION ABOUT THE TEACHERS

現在は、日本のキャンプ座間にある座間ミドル・ハイスクールにて教鞭を執っています。最近では、キャンプ座間コミュニティセンターにて『Oliver!』の演出を担当し、2025年11月に上演された『Shrek the Musical』では舞台美術デザインおよび出演の両面で携わりました。



Set and Properties Designer: M. Catalá

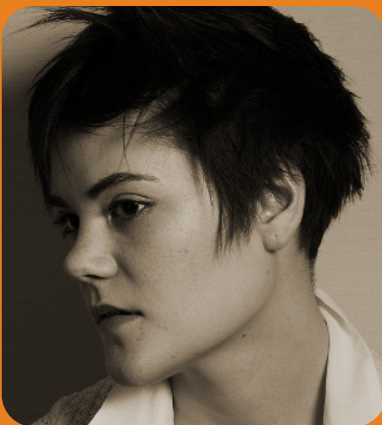
M. カタラは、過去25年以上にわたり多様なメディアで活動してきたプロのアーティスト兼パフォーマーです。また、K-12 (幼児から高校生) を対象に10年以上の指導経験を持つ教育者でもあります。特別支援教育の修士号を取得しており、スキル育成とインクルーシブな視点を重視したアート教育を実践しています。

これまでにニューヨーク、バンクーバー、東京、そしてテンプル大学タイラー美術大学 (フィラデルフィア) での学びを背景に、国内外で個展およびグループ展を開催してきました。また、ビジュアルアートおよびパフォーマンス作品において、デラウェア州芸術評議会より助成を受けています。

現在は新たな作品制作に取り組むとともに、ソウルミュージックに特化したコミュニティラジオ番組「Wet Streets」をボランティアで運営しています。独学で習得した3Dデザインと、共同制作を通じて培った実践的な経験を活かし、舞台美術のデザインおよび制作にも携わってきました。アメリカでは小学校による『オズの魔法使い』の舞台制作にも関わっています。

舞台美術を「それ自体が一つの登場人物である」と捉え、物語を支える重要な要素としてデザインに取り組んでいます。また、特別支援教育のバックグラウンドを活かし、多様な学びのスタイルを持つ生徒一人ひとりに寄り添った指導を行っています。

サマーキャンプでは、舞台セット制作を担当し、視覚デザインがどのように物語表現を支えるのかを生徒とともに学びながら、創造性あふれる安心できる環境づくりをリードします。



Kaille Kirkham

カイルリーは、4歳でプロとしての俳優デビューを果たし、その後数十年にわたりさまざまなパフォーマンス分野に携わってきました。中でも舞台への深い愛情を持っています。自身も受賞歴のあるプロの女優である祖母の指導を受けながら舞台に親しんで育ち、6歳から16歳まではホームスクーリングを受け、さまざまな役柄や表現手法に創造的に取り組む機会を中心に教育を築いてきました。

教育者としては、スクールカウンセリング分野の教育学修士号を取得しており、現在はアオバジャパン・インターナショナルスクールにてスクールカウンセラーを務めています。

パフォーマーとしては、演技だけでなく、舞台技術、演出、脚本執筆、さらには出版作家としても活動するなど、舞台芸術のあらゆる側面に取り組んできました。その活動はアメリカの東海岸・西海岸にとどまらず、ソウルや東京では受賞歴のある短編映画にも携わっています。現在も自身の執筆活動を続けるとともに、文学分野におけるコンテンツクリエイターとしても活動しています。

祖母が彼女を舞台の世界へ導いたように、今度は自身が生徒たちをその世界へ導きたいと考えています。自分自身を一度手放し、まったく別の人物として生きるという、不思議でありながらも力強い体験を通して、生徒が成長できるよう支援し、脚本家のビジョンを観客に届ける舞台づくりへと導いていきます。

お申込みはこちらをクリック



or QRコードにアクセス

+ MORE SPECIAL GUEST TEACHERS!